

広報誌

January 2014

第20号

発行日 平成26年1月1日

発行責任者 櫻庭 啓 恭

ふれあい

発行 社会福祉法人 北海道宏栄社



(Photo) 小樽天狗山スキー場
(写真提供) 小樽市産業港湾部観光振興室

もくじ

- | | | | |
|--------------------|---------|--------------------------------|---------|
| ● 理事長挨拶 | 2 頁 | ● 各種研修会 | 8 頁～9 頁 |
| ● 利用者関係 | 3 頁 | ● 寄付金／ご来訪／ご寄贈 | 10 頁 |
| ● 想いDEフォト | 4 頁～5 頁 | ● 職員・利用者の紹介／編集後画 | 11 頁 |
| ● そばボランティア特集 | 6 頁～7 頁 | ● 各施設のご案内／施設の利用状況／宏栄社の略図 | 12 頁 |

理事長挨拶

理事長 よし むら かつ ゆき
吉 村 克 之



新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。関係各位には日頃より社会福祉活動に対して多大なるお力添えを賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は憲法改正、原発再稼働、環太平洋連携協定（TPP）、日中、日韓の歴史と領土問題等々、更に特定秘密保護法案と国論を二分するような大きな問題を政府は国民に問いかけています。これらを冷静に判断すると国民は大きな岐路に立たされている感は否めません。何故なら次世代に大きな影響を与えることになるからです。慎重に見守っていきたいものです。

さて経済情勢は、震災復興が2年半を過ぎてもまだまだですが、アベノミクスとやらで経済は順調に推移している様子で、当法人の授産事業であるクリーニングの売上が国内はもとより海外からの観光客も増えた事により伸びております。当法人はホテルリネンの売上げが全体の50数%を占めており、こうした経済効果の影響がでてきたことは大変喜ばしいことでもあります。

また法人運営としては賃金制度改定と人事考課制度の導入を行います。昨年の4月からこの課題に取り組み、人事考課の要素も取り入れた段階号俸表を今年の4月から実施することになり、第2弾として年度内にはトライアル期間を設けた上で人事考課制度を実施する予定であります。

これらが整備されることにより、長期的には法人運営の改善につながることにとなり、また職員の士気、意識改革に大きく反映すると共に、利用者に対する施設サービスの向上につながるものと確信しております。

今年も明るく希望に満ちた環境作りに職員と共に取り組む所存であります。

青木将彰さん第13回全国障害者スポーツ大会 競泳 銀メダル、銅メダル獲得!! ～2020年 東京パラリンピック出場を夢に～



平成25年10月12日から14日までの3日間、東京都で第13回全国障害者スポーツ大会が開催され5500人が参加しました。

青木将彰さんは江東区の東京辰巳国際水泳場において、北海道代表選手として出場し、25mバタフライで銀メダル、25m背泳ぎで銅メダルを獲得しました。

今年も全国大会に向けて、週に3回は練習に励んでいる青木さん。

さらに、2020年の東京パラリンピック出場を目指し、闘志を燃やしています。

第13回 全国障害者スポーツ大会（部門：競泳）結果

種 目	記 録	結 果
25mバタフライ	15秒95	銀メダル
25m背泳ぎ	18秒23	銅メダル

田口茂さんが(株)ゲオショップに就職しました

平成25年5月20日から「株式会社ゲオショップ小樽店」にてトライアル雇用を利用していた田口茂さんが本人の努力と、店長さんをはじめとするスタッフの皆さんのご指導の結果、8月20日より正式採用となりました。

田口さんQ & Aコーナー

- Q：今行っている仕事内容は？
 A：床やショーケースの清掃や陳列棚の清掃・整理です。
 Q：大変だった事がありますか？
 A：雨の日は、床にモップ掛けをした跡が残るので、残さないように意識しています。
 Q：仕事をする上で常に心がけている事がありますか？
 A：棚清掃をしながら、どこに何があるかを覚えて、お客様に聞かれたときに答えるように心がけています。



床を清掃している田口茂さん

～田口さんより利用者の皆さんへ～

「皆さんぜひゲオを利用しに来てください！そして一般就労を目指してこれからも頑張ってください。」

上野聖香さんが「アゼイリアコーラス」に特別出演

昨年の4月から利用を開始した視覚障がいのある上野聖香さんが、奥沢にある高齢者向けマンション「ヴェリセ・ヴィラおたる」と北海道済生会「西小樽病院」のクリスマス会にて行われた慰問演奏会に、当法人の本間政昭監事が指揮者である「アゼイリアコーラス」に特別出演いたしました。

女性25名からなる「アゼイリアコーラス」は43年の歴史があり、慰問活動も積極的に行っています。

今回、上野聖香さんが特別出演をすることになったきっかけは、当法人の行事「秋祭り」での歌声を本間監事さんが聞いて、その素晴らしさに感動し、是非一緒に参加してほしいと依頼を受けたことがきっかけでした。

上野さんは小さな頃からボイストレーニングを受けたりピアノを習ったり、自ら作詞作曲もしております。

今回は高校時代に作詞作曲をした「前を向いて」の弾き語りをしました。

その他、コーラスの方々と「花は咲く」を一緒に歌いました。

上野聖香さんにとっては、地域の方々と交流を深めるいい機会になったと思います。



弾き語りをする上野聖香さん

～上野聖香さんのコメント～

コーラスの方達と一緒に歌うのは初めての経験だったので、緊張しましたがとても楽しむことが出来ました。

弾き語りという事で、とても難しかったです。

でも今までにない経験をする事が出来て本当に良かったです。参加させていただいて、ありがとうございました。



上野聖香さんとアゼイリアコーラスの皆さん

(紙面担当／小林則忠、林裕二、天山永之)

想いDEフォト

昨年も多くの利用者が施設行事・スポーツ大会に参加しましたので、ご紹介します。

秋祭り ～9月7日開催～



右の写真の方はハーモニカ奏者の千葉喜代志さんです。

朝里中央病院に勤務している千葉さんは、ボランティア活動として小樽市内の福祉施設を訪問しハーモニカを演奏しており、音楽を通じて地域との交流を深めています。

北海道宏栄社には一昨年にもお越しいただき、今回と同様、素晴らしい音色で私たちを魅了してくれました。当日の演奏曲はこちらです。

1. 遠き山に日は落ちて～家路（ドヴォルザーク）♪
2. アニーローリー（スコットランド民謡）♪
3. 見上げてごらん夜の星を（坂本九）♪
4. 高校三年生（舟木一夫）♪



防災訓練 ～10月10日実施～



クリスマス忘年会 ～12月14日開催～



北海道障害者スポーツ大会 ～7月14日開催～



北海道障害者フライングディスク大会 ～9月8日開催～



北海道障害者ボウリング大会 ～10月27日開催～



北海道障害者卓球大会 ～11月17日開催～



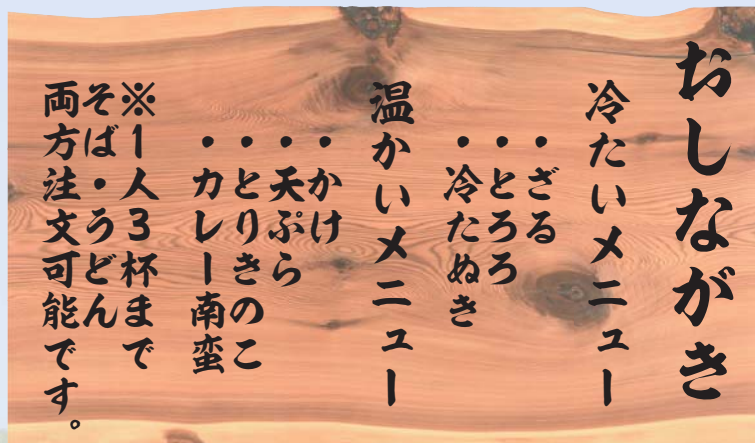
第31回 蕎麦ボランティア

毎年11月に小樽蕎麦商組合青年部（部長 宮下勝博さん）の方々にボランティアでお蕎麦を振る舞っていただき、今年で31回目を迎えました。

利用者の皆さんも楽しみにしているイベントで、次の日は「昨日お蕎麦どんなの食べた？何杯食べた？」という話題でもちきりになります。

今年は蕎麦ボランティア特集ということで、お世話になっている小樽蕎麦商組合青年部の皆様をお願いしまして、一言ずつ温かいコメントをいただきました。

当日はみんな朝から「今日はそばの日だね」と言いながら心待ちにしていました。



様子はこちら！！



～みんなのコメント～

たくさんのコメントの中から、一部ですが・・・

- ・とても美味しかったです！また楽しみにしています。
- ・三十数年間いつも変わらないおいしいお蕎麦、ありがとうございました。
- ・おいしかったので10杯くらい食べたかった！
- ・控えめに頼んでいたけど次回は3杯食べたい！

小樽蕎麦商組合青年部の皆さん、本当にありがとうございました。

協力してくださった小樽蕎麦商組合青年部のご紹介



宮下勝博(部長)さん

利用者の皆様から喜びと感謝の言葉を頂き、こちらも励みになります。

そば処 伊佐美屋
住所 小樽市花園4-7-2
電話 0134-22-3095



後藤誠司さん

年に一度の行事に参加できて幸いです。美味しく食べてくれたことをうれしく思います。

信州屋 支店
住所 小樽市花園1-11-13
電話 0134-32-0912



安藤彰啓さん

31回を数える訪問に関わられてとても幸せです。「ごちそうさま」の笑顔にいつも癒されます。

蕎麦処 やま安
住所 小樽市稲穂3-6-1
電話 0134-22-4622



小林幸造さん

ぼくらは毎年楽しく勉強させてもらってます。美味しかったと喜んでいただきたいと思います。

両国 塩谷店
住所 小樽市塩谷1-4-28
電話 0134-26-3885



森田一正さん

皆さんの喜ぶ笑顔を毎年楽しみにしています。仲間との共同作業になるもの楽しみの1つです。

名代生蕎麦 一福
住所 小樽市色内1-6-8
電話 0134-22-1043



鈴木大治さん

利用者さんの喜ぶ顔を拝見する度に「ああ、やってよかった」と感激します。またお願いします。

信州屋 本店
住所 小樽市松ヶ枝1-15-9
電話 0134-25-0164



樋口誠さん

皆さんの「おいしかったよ」という笑顔のごちそうを頂きました。また来年もお願いします。

小樽蕎麦屋 藪半
住所 小樽市稲穂2-19-14
電話 0134-33-1212



渡辺嗣人さん

「新メニューなども」という考えもありますので、次回もご期待ください。

蕎麦 両国分店
(長崎屋地下1F)
住所 小樽市稲穂2-20-1
電話 0134-22-5222

糖尿病教室が開催されました

平成25年6月5日と10月16日に、糖尿病教室が開催されました。

健康診断の結果で糖尿病の有所見者が多かったため、職員である森山看護師が利用者の健康増進と糖尿病に対する正しい知識をもってもらうために企画しました。

6月5日に行われた教室では小樽市保健所保健師の久保亜希子さんを講師に招き、糖尿病に関するDVDの鑑賞やグループに分かれての討議を行いました。



10月16日に行われた教室では森山看護師が糖尿病について発症する要因や注意しなければならないことなどを、自ら資料にまとめて講演しました。



今回の研修を終えて、利用者からこんな声があがりました。

- ・良い勉強になりました。間食をやめます。
- ・トイレが近く、尿の量が多いため、心配です。
- ・自治会として、利用者の健康状態を知ることができ、勉強になりました。

森山看護師からも一言いただきました。

今回の教室を開いたことで、周囲の人達が糖尿病について理解をし、日常の何気ない行動の中でサポートをしていただければと思います。
「継続は力なり」を信じて、私をはじめ皆さんで今後も取り組んでいきたいと思っています。

最後に、日本人の糖尿病患者のうち95%を占めているⅡ型についてまとめてみました。

Q. 糖尿病Ⅱ型が起こる原因は？
A. 生活習慣の乱れから発症します。

食生活の乱れや運動不足などからインスリンの働きが悪くなり、発症します。

Q. 糖尿病を予防するには？
A. 習慣づけが大切です。

食生活については、野菜を摂る、薄味にする、調味料はかけずにつけるなど見直しが必要です。
適度な運動も必要です。基礎代謝の減少により、脂肪が蓄えられ、生活習慣病へとつながります。
基礎代謝を上昇させるために普段から歩く事を心がけてください。

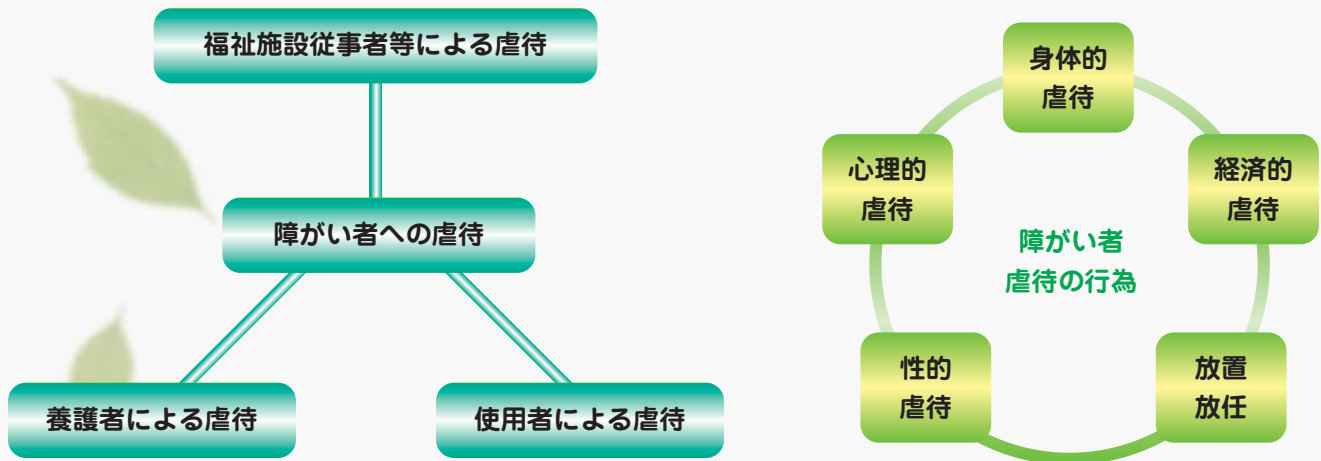
皆さんも普段の生活の見直しを行って、病気の予防へとつながっていきましょう。

虐待防止研修会が開催されました

平成25年11月20日と21日の2回にわたって、虐待防止研修会が開催されました。

平成24年10月1日に障害者虐待防止法が施行されてから、虐待に対する関心が高まっており各地で虐待防止に関する研修会が多く開催されています。

今回の研修会は武田管理部長をはじめ、社会福祉法人北海道社会福祉協議会等が主催した研修会を受講した職員が講師となって、研修会で得た知識を発表しました。



虐待は何故起こるのか？から研修会が始まりました。

虐待が起きる要因は様々であり、認識の相違から虐待に発展する事もあります。

指導だと思っていっても、とらえ方の違いで虐待になる場合も含まれます。

職員と利用者の間だけではなく、職員間でも起こりうる事案です。チェックシートの活用や意見交換など、施設として明確なものを確立するために、態勢の整備が必要となってきます。

また、講師となった職員全員が「通報義務」の大切さを述べていました。

意図的ではないとしても、相手からすれば虐待と思える行為は、ちょっとした日常の接し方にひそんでいます。私たちはそれに気づかずに過ごしているかもしれません。

また、虐待行為をしているのではないかな？と見て思った時は、通報しなければなりません。

障害者虐待について、一人一人が「困っている人を助ける」という意識をもつ事、そしてその場面に遭遇した時、実行できる行動力を身につける必要があります。



赤い羽根共同募金様より、工場棟一般屋上防水改修工事に 係る費用を助成していただきました

クリーニング工場は老朽化が進んだ建物で、屋上の防水工事をする必要がありました。工事費が高額でしたが、赤い羽根共同募金様に補助をいただいて、屋上の防水工事を行うことができました。当法人を利用している
方々が安心して作業ができる環境づくりに協力いただき、本
当にありがとうございます。

事業名 工場棟一般屋上防水改修工事
総事業費 1,580,000円
助成額 790,000円



ありがとうございます!!



施設見学会

今年も沢山の方々が施設見学に訪れました。
当法人の見学を希望する方はご連絡下さい。
電話番号：0134-25-1551

～見学にいらした方々～

小樽市民生児童委員協議会・生活福祉資金部会の皆様	16名
浜小樽地区民生児童委員協議会の皆様	10名
南九州市 えい 瀬戸町民生児童委員協議会の皆様	25名



昨年寄贈をいただいた方々をご紹介します。 本当にありがとうございました

小樽蕎麦商組合青年部様

今年で31回目を迎えました。天ぷら、ざる、とろろ、
色々なお蕎麦を提供していただきました。

コカ・コーラボトリング様

Qoo オレンジなどソフトドリンク194本、寄贈し
ていただきました。

日本中国料理協会小樽支部様

シュウマイを120個、寄贈していただきました。

株式会社かま栄様

やきちくわを150本、寄贈していただきました。

新利用者の紹介



伊藤 康太(いとう こうた)さん

リネン工場1階でピロ流しをしています。1枚でも多くのピロケースを流そうと頑張っています。お休みの時はゲームを楽しんでいるそうです。

安崎 慎二(やすざき しんじ)さん

趣味は読書。小説を読むのが楽しみだそうです。寝具工場2階のタオルやおしぼりたたみで頑張っています。

新入職員の紹介



打矢 直美(うちや なおみ)

血液型：AB型

出身地：小樽市

趣味：映画鑑賞

好きな食べ物：甘いもの

座右の銘：一日一善

8月から宏栄社に入社し、生活支援課に所属しております。御迷惑をかける事も多いと思いますが、一生懸命頑張りますので何卒よろしくお願い致します。



幡野 佳寿子(はたの かずこ)

血液型：O型

出身地：小樽市

趣味：家庭菜園

好きな食べ物：イチゴ

座右の銘：自分らしく

11月より勤務しております。分からない事ばかりなので、質問することが多いと思いますが、今後共よろしくお願い致します。

編集後記

ふれあい20号をお届けします。12ページにわたって、各編集委員が個性を生かし趣向を凝らして紹介しました。紙面をご覧のとおり昨年もたくさんの方々にお世話になり、皆が笑顔いっぱい年を越すことができました。

今年は、北海道宏栄社にとってさらなる飛躍の年となるよう利用者さんをはじめ、職員一同手を取り合って頑張ります！私たち編集委員も新たな気持ちで取り組みますので、今年もよろしくお願いいたします。

(編集委員長：小林則忠)

(紙面担当／小林則忠、林裕二、高田栄一郎、中村徹斗)

各施設のご案内



社会福祉法人

北海道宏栄社

〒047-0011

小樽市天神2丁目8番2号

電話代表 ☎ 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

営業直通 ☎ 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyu.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyu.or.jp

(営業時間) ■平日 ■8:40~17:00 ■土曜 ■8:40~14:50 ■日曜 ■定休日

障害者支援施設

北海道宏栄社

(定員54名)

障がいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業(生産型)を提供する施設です。

●施設入所支援事業(定員54名)

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業(定員54名)

日中活動の場として、軽作業等の生産活動の機会を提供します。希望に応じて食事の提供も可能です。

●就労継続支援B型事業(定員15名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

障害福祉サービス事業

宏栄セルプ

(定員60名)

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業(定員10名)

一般の会社に就労を希望する方が、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業(定員10名)

障がいがある理由で一般就労が困難な65歳未満の方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業(定員40名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

相談支援事業所

あおば

在宅の障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業 ●特定相談支援事業 ●障害児相談支援事業

☎ 0134-27-4722

FAX 0134-33-1131

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室・定員20名)

障がいのある方に、バリアフリー対応の居室を提供します。単身用と夫婦用の居室があります。

☎ 0134-24-7551

宏栄社の略図



施設の利用状況

(平成26年1月1日現在)

区 分		定 員	利用者数		
			男性	女性	合計
北海道 宏栄社 (入所)	施設入所支援	54	38	11	49
	日中生活介護	54	31	9	40
	就労継続支援 B型	15	7	2	9
宏 栄 セルプ (通所)	就 労 移 行 支 援	10	5	1	6
	就労継続支援 A型	10	4	2	6
	就労継続支援 B型	40	33	10	43

区 分		居室数	利用中	空室
宏 栄 社 福祉ホーム	単身用居室	8室(8名)	8室	0室
	夫婦用居室	6室(12名)	6室	0室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。